

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、8月30日に産業建設分科会を開催しました。

認定第1号 平成28年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、きびじつるの里の在り方について、管理方法や経費の面で以前から指摘をしているが、十分な改善がなされていないため、認定できないと異議がありました。

～質疑～

問：塵芥処理費の測量等委託料、設計等委託料、工事監理委託料の内容は何か。

答：測量等委託料は、従前からの最終処分場の残量調査で平成28年10月の段階で残り1.9年という結果である。設計等委託料は、清音の大谷廃棄物捨場と宿のごみ埋立地を閉山するための水質検査である。工事監理委託料は、新しい最終処分場の工事検査の補助を委託したものである。

問：環境調査委託料とはどのようなものか。

答：井尻野の西村地区ナフコから南付近で黒い物質が出るということでその調査した経費である。調査の内容は主に、白いボックスを設けどのように黒いものが付くか調査をしたものと、風向きの調査をしたものである。調査結果では、黒いものは藻やカビである。風向きの調査では、湛井から南へ吹く風が多いことが分かった。また、高梁川がすぐ傍にあるという地理的条件や気象的条件から起きているもので、今後も調査を検討している。

問：勤労者融資貸付金の貸付件数及び融資額はいくらか。

答：平成28年度貸付件数は52件、融資額は5,555万円である。

問：総社観光プロジェクト実行委員会負担金が昨年と比べ増額した理由は何か。

答：主に、赤米フェスタを開催したことによるものである。

問：プレミアム付き商品券第2弾の効果はどうか。

答：4億9,000万円の商品券が市内に流通し、換金率は99.7%で個人の新たな消費を生み出した効果はあったと感じている。

問：中央井手本線改良工事において、完成は何年度か。また、終点はどこか。

答：平成31年を目標にしていたが、国の交付金の配分により施工していくため、5、6年は延びると思われる。終点については、吉備信用金庫きびの里支店のある刑部三須線の交差点までと考えている。

問：市営住宅使用料について、収入の状況はどうか。

答：現年分で収納率は、平成27年度86.97%、平成28年度85.46%で多少下がってきている。年々老朽化により家賃も下がり、入居者も減ってきているのが現状である。